

令和7年度 予算

予算総額 前年度比0.81%増

245億7672万円

一般会計 前年度比1.06%増

152億6000万円

企画財政課 TEL22-6825

会計名	令和7年度 a	令和6年度 b	比較	
			金額 a-b	率 a/b-1
一般会計	152億6000万円	151億円	1億6000万円	1.06%
国民健康保険特別会計	29億1900万円	31億1200万円	△ 1億9300万円	△ 6.20%
介護保険特別会計	31億7800万円	30億4100万円	1億3700万円	4.51%
後期高齢者医療特別会計	5億3300万円	5億 700万円	2600万円	5.13%
高富財産区特別会計	180万円	180万円	0万円	0.00%
水道事業会計	10億6709万円	10億1653万円	5056万円	4.97%
下水道事業会計	16億1783万円	16億 146万円	1637万円	1.02%
予算総額	245億7672万円	243億7979万円	1億9693万円	0.81%

会計別予算額内訳表

※予算は千円単位のため端数処理をしています。

市長施政方針の要旨(令和7年第1回定例会)

「未来へ踏み出す確かな歩み」 子育て応援加速型予算

令和7年度は、「こどもと未来を結ぶ多様性のある社会実現」「健康寿命の延伸と高齢者の活躍」「未来を見据えた力強く豊かなまちづくり」「地域課題の解決に向けたDX、GXの推進」の四つを重点施策としながら、「未来へ踏み出す確かな歩み」子育て応援加速型予算」を編成しました。

今後の市政運営

東海環状自動車道は山県インターチェンジの開通から約5年が経過し、4月には本巢インターチェンジまで延伸、夏ごろには、いよいよ名神高速道路まで開通する予定となっています。これにより新しい人の流れが生み出され、山県市にとっても新たなステージを迎えます。交流人口の拡大やインバウンド需要などが期待され、このタイミングを逃すことなく、市が持つポテンシャルや魅力を発信していく必要があります。市内経済の活性化につなげるとともに、DX、GXによる取り組みも併せ、官民連携のもと、持続可能なまちづくりを推進していきます。



しかし、こうした取り組みは行政だけの力で成し遂げることはできません。市議会をはじめ、市内のあらゆる関係団体や市民の皆さまとの「対話による共感」が必要不可欠であり、皆さまと共に協働のまちづくりを目指してまいります。

市民1人当たり予算額

令和7年度一般会計予算／人口※

＝約617,589円

※24,709人(令和7年2月1日現在)

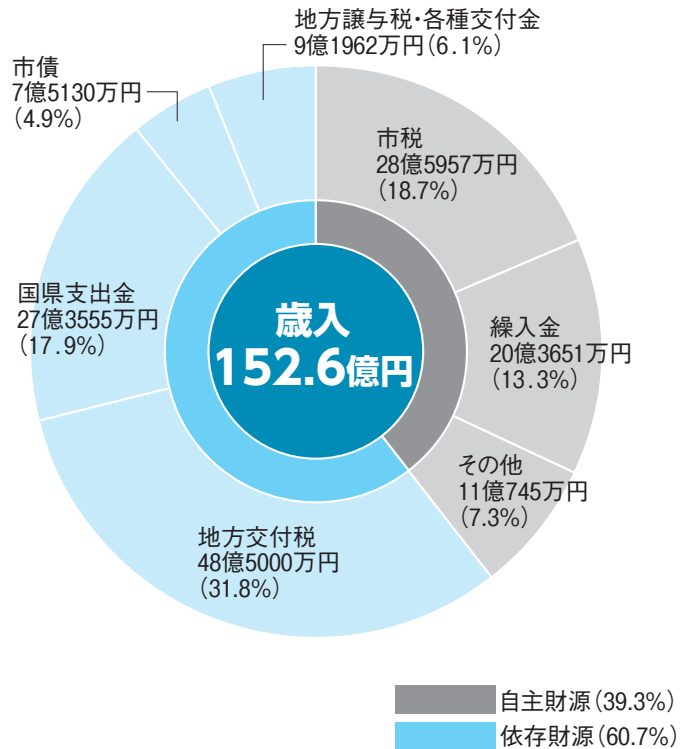
主な歳入

市税	115,730円
繰入金	82,420円
地方交付税	196,285円
国県支出金	110,711円
市債	30,406円

主な歳出

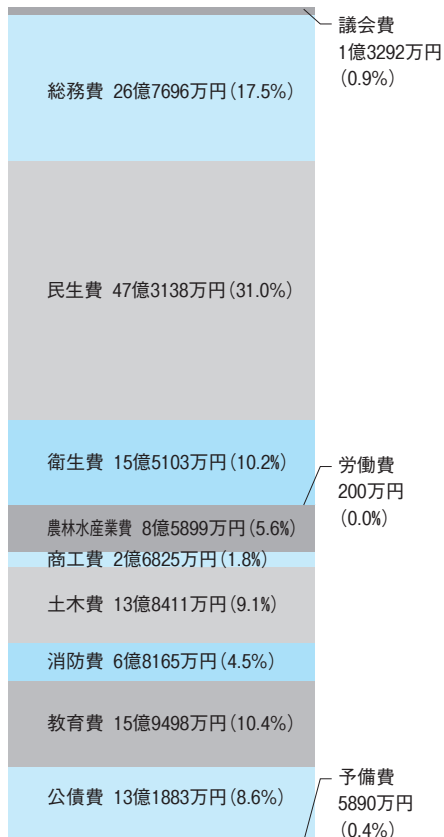
市議会の運営など	5,379円
庁舎管理、広報、選挙、戸籍など	108,339円
高齢者・障がい者・児童福祉など	191,484円
保健、環境、ごみ処理など	62,772円
農林業、観光、商工業などの振興	45,621円
道路、河川、公園など	56,017円
消防、防災など	27,587円
学校・社会教育、社会体育など	64,551円
市債の償還金	53,374円

一般会計歳入



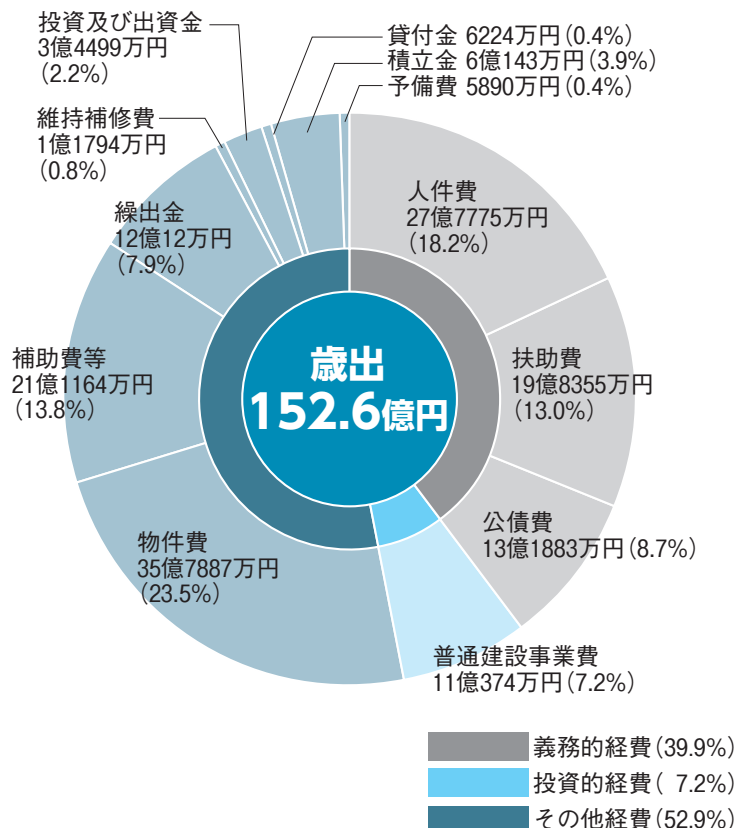
※数値は四捨五入をしているため、内訳の合計が総数に合わない場合があります。

一般会計歳出(目的別)



※数値は四捨五入をしているため、内訳の合計が総数に合わない場合があります。

一般会計歳出(性質別)





令和7年度重点施策

～未来へ踏み出す確かな歩み～

子育て応援加速型予算

2つの視点で紹介します

※（ ）内は令和7年度歳出予算額

NEW 小中学校教材費無償化事業 (34,000千円)

義務教育にかかる保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境を整えるため、小中学校教材費の一部無償化を実施します。

※一部実費負担あり

※対象となる教材の例

ドリルやテストなど、共通して使用するもの



子育て・教育環境の充実、健康づくりに向けた視点
こどもたちが安心して育つことができる環境整備、健康寿命の延伸、高齢者などが生き生きと活躍できるような取り組みを実施します。

NEW みんなのげんき広場 大型遊具整備事業(100,000千円)

みんなのげんき広場に、幅広い世代のこどもたちを対象とした大型遊具などを設置します。また、現在の遊具や球技コートなどの更新・修繕などを行います。

こどもげんきはうすの来館者や市内、市外のこどもたちなど、誰もが利用できる「子育て応援」のシンボルとなるよう整備を行います。

保育園・小中学校給食費無償化事業 (140,226千円)

健全な心と体を培い、豊かな人間性を育むとともに、生きる力を身に付けていくため、保育園・小中学校給食費の無償化を実施します。

栄養バランスのとれた給食を提供することで、こどもたちの健康・成長を増進します。また、給食を通して地域の食文化に触れ、食を楽しむ経験を積み重ねることで食への関心を育みます。

各種がん検診節目検診無償化事業 (3,134千円)

がんは早期発見・早期治療ができれば、高い確率で治療できるようになってきています。

がん検診の受診率を上げ、がんの早期発見・早期治療につなげるため、40、45、50、55歳の節目年齢となる市民に対して、引き続き各種がん検診(胃がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん・肺がん)の無料クーポンを配布します。

特定健診無料化事業 (21,738千円)

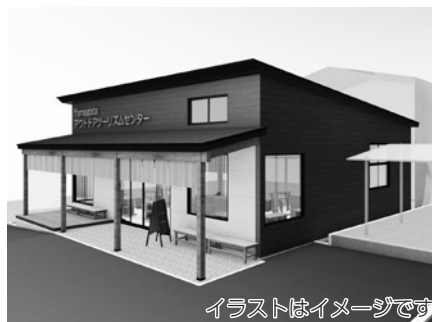
生活習慣病などの疾病予防を促進するため、40歳から74歳の山県市国民健康保険加入者を対象とした、特定健診における自己負担金の無料化を実施します。

定期的な健康診査の受診を勧奨することで、健康増進を促進し、医療費の適正化を図ります。

NEW 北部地域観光魅力化事業 (18,947千円)

令和7年4月1日から開設したいわ桜コミュニティセンター敷地内に、観光案内所(通称：山県アウトドアツーリズムセンター)を併設します。

当施設を拠点に、市の観光地を密接につなげる観光案内・体験ツアーの展開や、観光誘致に伴う地域課題解決の役割を担う事業を実施します。



イラストはイメージです

**市民生活・地域経済の
基盤成長に向けた視点**
交流人口の拡大や地域経済活性化、災害に強いまちづくり、地域課題解決に向けたDX、GXを推進する取り組みを実施します。

NEW 総体トレーニングジム まるごとDX事業(10,041千円)

市総合体育館のトレーニングジムに、入退室管理システムやAIカメラ自動危険検知システムなどを導入します。

これにより受付時の会員証の確認作業が不要となり、ノンストップでの入退室が可能となります。また、ジム内の混雑状況やマシンの利用状況がスマホなどでリアルタイムに確認できるなど、利用者の利便性向上を図ります。



イメージ図

NEW 書かない窓口拡充事業 (12,805千円)

令和5年度から、氏名や住所などの申請書への手書き記入が不要となる「書かない窓口」をおくやみ関連の手続きで導入しています。

令和7年度はこのシステムを証明書発行の窓口などへ展開することで、来庁者の利便性向上と業務効率化を図ります。

NEW 有機農業推進事業 (5,000千円)

環境への負荷の少ない、より持続可能な農業の実現に向け、有機農業を推進します。

有機米生産の実証実験などを行い、市内全ての保育園給食への導入を目指すなど、有機農業の取り組み拡大を図ります。



NEW 自転車用ヘルメット購入補助金 (500千円)

自転車乗車時のヘルメットの着用を促し、交通事故による被害の軽減を図るため、高校生や高齢者が自転車乗車用ヘルメットを購入する(した)費用に対し購入補助を実施します。



NEW 耐震シェルター等設置補助金 (1,500千円)

地震への備えに対する補助を行うことで、地震に強いまちづくりを推進します。

一定の要件を満たす木造住宅において、地震による住宅の倒壊から大切ないのちを守るための、耐震シェルター・耐震ベッドの設置に対する補助を実施します。実施時期などは、市HPでお知らせします。

お知らせします

令和6年度市の財政事情

市は、年に2回「財政事情」を公表しています。市の収入や支出の状況はどうか、市税の負担状況はどうかなどをお知らせするもので、皆さんの家庭で例えると家計簿に当たります。

今回は、令和7年1月31日現在(令和6年4月～令和7年1月)の状況です。

企画財政課 TEL22-6825

※1万円単位で端数処理をしているため合計金額が合わない場合があります。



予 算 額 168億2694万円
収入済額 100億 706万円(収納率59.5%)
支出済額 98億8316万円(執行率58.7%)

歳入			歳出		
上段：予算現額 下段：収入済額			上段：予算現額 下段：支出済額		
市 税	皆さんに納めていただいた税金で、市民税、固定資産税など	27億7673万円	総 務 費	一般事務経費、戸籍住民基本台帳費など	31億4936万円
		22億1138万円			11億9188万円
地方消費税 交 付 金	県が徴収した地方消費税の一部を県内市町村に対して交付するお金	5億8600万円	民 生 費	社会福祉費、児童福祉費、生活保護費など	52億6772万円
		4億6206万円			38億 320万円
地方交付税	地方交付税法に基づき交付される普通交付税および特別交付税	49億9740万円	衛 生 費	保健衛生費、ゴミの収集・処理など	17億 821万円
		47億9801万円			10億7669万円
国庫支出金	国から市に対して交付される負担金、補助金など	23億7604万円	土 木 費	道路や河川の維持・新設改良費、公園の整備費など	15億5635万円
		8億6894万円			7億3205万円
県 支 出 金	県から市に対して交付される負担金、補助金など	9億2404万円	教 育 費	小中学校に係る経費、社会教育費など	14億9586万円
		2億7963万円			9億3009万円
市 債	道路などの建設のために、一時的に多額の費用が必要などときなどに、市が長期に資金の借入をすること	14億3980万円	公 債 費	地方債(市債)の元利償還金	15億 687万円
		0万円			7億4597万円
そ の 他	繰入金、分担金および負担金、寄附金、諸収入など	37億2693万円	そ の 他	消防費、商工費、議会費、農林水産業費など	21億4257万円
		13億8704万円			14億 328万円
合 計		168億2694万円	合 計		168億2694万円
		100億 706万円			98億8316万円
		(収納率) 59.5%			(執行率) 58.7%

特別会計

特別会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	31億4097万円	20億1614万円	21億 830万円
介護保険	31億1770万円	23億5620万円	21億5819万円
後期高齢者医療	5億1697万円	3億7428万円	3億5201万円
高富財産区	180万円	75万円	75万円

※国民健康保険特別会計の歳入歳出差額は、他会計などの基金を繰り替えて運用しています。

企業会計

水道事業（積立金残高114万円／企業債残高17億2508万円）

区 分		予算現額	収入・支出済額
収 益 的	収 入	6億8865万円	4億1227万円
	支 出	6億4769万円	2億4439万円
資 本 的	収 入	1億1398万円	1億 528万円
	支 出	4億6600万円	1億9880万円

下水道事業（積立金残高100万円／企業債残高52億1902万円）

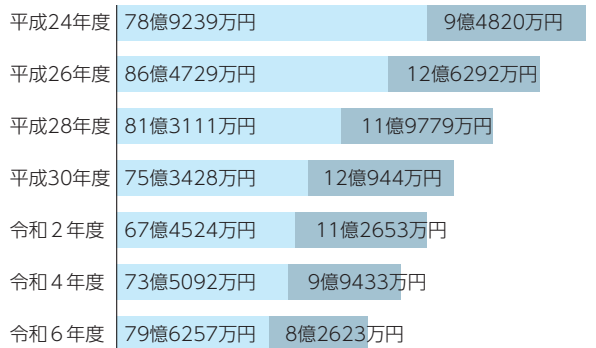
区 分		予算現額	収入・支出済額
収 益 的	収 入	10億1983万円	5億2423万円
	支 出	10億1983万円	2億2011万円
資 本 的	収 入	3億6811万円	2億3127万円
	支 出	5億8868万円	2億7885万円

基金残高の状況

基金名	現在高
財政調整基金	28億 521万円
減債基金	12億6493万円
魅力あるまちづくり基金	9億6429万円
消防施設整備基金	7116万円
合併振興基金	14億8524万円
地域福祉基金	5億4808万円
国民健康保険基金	2億2156万円
介護給付費準備基金	4億4625万円
高富財産区調整基金	1億3570万円
その他の基金	8億4638万円
合 計	87億8880万円

1人当たり 355,692円(前年比6,205 円減)

基金残高の推移



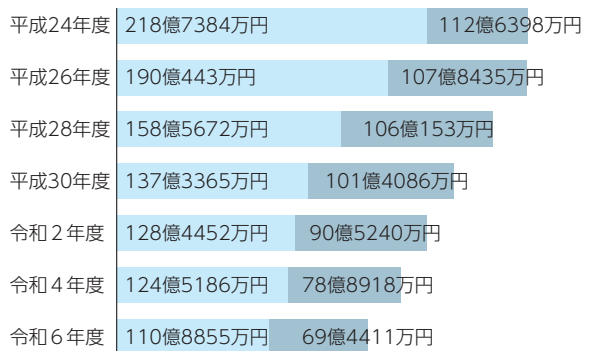
※各年度の額は年度末現在、令和6年度は令和7年1月末現在
水道事業会計の積立金は除く。

地方債の借入残高状況

区 分	現在高
一般会計	110億8855万円
普通債	48億9939万円
災害復旧債	3768万円
臨時財政対策債	46億1410万円
合併特例債	15億 780万円
その他一般会計分	2958万円
水道事業	17億2508万円
下水道事業	52億1903万円
合 計	180億3266万円

1人当たり 729,801円(前年比92,038円減)

地方債残高の推移



※各年度の額は年度末現在、令和6年度は令和7年1月末現在